

大会プログラム

◇◆◇◆◇ 第1日： 6月29日（土） ◇◆◇◆◇

英語教育研究法セミナー 10:30～11:30 A21

コーディネータ：浦野 研（北海学園大学）

1. 「よい研究」の条件と種類（浦野研）
2. 研究論文の書き方・まとめ方（田中武夫）

受付 11:00～12:00 共通教育棟ホール

協賛企業展示 12:00～ A22

開会行事・総会 12:10～13:00 C21

シンポジウム 13:15～15:15 C21

テーマ「生徒の目が輝くとき」

司会者：早瀬光秋（三重大学）

荻原洋（富山大学）

提案者：江利川春雄（和歌山大学）

上山晋平（広島県福山市立福山中・高等学校）

森田康寛（富山県南砺市立井波中学校）

問題別討論会 15:30～17:30

第1会場：「中学英語：週4時間になって変わったこと」 C12

コーディネータ：佐久正秀（大阪信愛女学院短期大学）

提案者：楽山進（富山県上市町立上市中学校）

若林一道（三重県四日市市立富洲原中学校）

第2会場：「高校英語：Can-Do リストで高校授業は変わるか？」 C13

コーディネータ：米田佐紀子（北陸学院大学）

提案者：安久ゆい（富山県立富山商業高等学校）

田畑力也（石川県立金沢錦丘高等学校）

課題別研究プロジェクト 15:30～17:30

①英語教師の成長につながる支援 代表 岡崎浩幸（富山大学） 会議室（1F）

司会者：岡崎浩幸（富山大学）

提案者：清水公男（木更津工業高等専門学校）

金田浩人（富山県立氷見高校）

岡崎浩幸（富山大学）

三上明洋（近畿大学）

②英語教育研究法の過去・現在・未来 代表 浦野研（北海学園大学） A23

司会者：浦野研（北海学園大学）

提案者：浦野研（北海学園大学）

酒井英樹（信州大学）

高木亜希子（青山学院大学）

田中武夫（山梨大学）

藤田卓郎（福井県立坂井農業高校）
亘理陽一（静岡大学）

本田勝久（千葉大学）

③協同学習を取り入れた英語授業

代表 大場浩正（上越教育大学）

A21

提案者：峯島道夫（新潟医療福祉大学）

サルバジョン有紀（名古屋女子大学高等学校）

大場浩正（上越教育大学）

懇親会

18:30～20:30 富山電気ビルディング 富山市桜橋通り 3-1

◇◆◇◆◇ 第2日： 6月30日（日） ◇◆◇◆◇

| | | |
|------------|-------------|----------|
| 受付 | 9:00～9:25 | 共通教育棟ホール |
| 司会者・発表者打合せ | 9:10～9:25 | 各発表会場 |
| 自由研究発表 ①～④ | 9:30～12:00 | |
| 協賛企業展示・昼食 | 12:00～13:00 | 企業展示 A22 |
| ポスターセッション | 12:00～13:30 | A21 |
| 自由研究発表 ⑤～⑧ | 13:00～15:30 | |
| 閉会行事 | 15:40～16:00 | C12 |

自由研究発表 ①9:30-10:00 ②10:10-10:40 ③10:50-11:20 ④11:30-12:00
⑤13:00-13:30 ⑥13:40-14:10 ⑦14:20-14:50 ⑧15:00-15:30

第1会場（会議室）

司会者：佐藤臨太郎（奈良教育大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|---|--|
| ① | 長谷部めぐみ（横浜国立大学） 牧秀樹（岐阜大学） 范凌云（岐阜大学） Jessica Dunton （SeDoMoCha Elementary School） 梅澤敏郎（岐阜女子短期大学） 笠井千勢（岐阜大学） | The junior Minimal English Tests as Prediction Tests for the STEP Tests |
| ② | 今井隆夫 （愛知みずほ大学他非常勤講師） | A Practice in the Classroom: How to Get Learners to Recognize Cognitive Motivation of Constructions. |
| ③ | 山田晴美（仁愛大学） | Teaching/Learning English in English (TLEIE): Teachers' Scaffolding |
| ④ | 古賀功（名城大学） 佐藤臨太郎（奈良教育大学） 今野勝幸（静岡理工科大学） | Input or output?: Considering the effects on the development of WTC |

司会者：酒井英樹（信州大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|------------------------------------|--|
| ⑤ | Fraser Sue（清泉女学院大学） | Do others communicate? FLT in Japan & England compared |
| ⑥ | Muller Theron （富山大学外国語教育専任教員） | Writing for academic publication in Japan: Two case studies |
| ⑦ | 山田邦子（福井県立藤島高等学校） | Better Understanding of American Culture: By Focusing on Speeches Delivered by President Barack Obama |
| ⑧ | 福田純也（名古屋大学大学院生） 草薙邦広（名古屋大学大学院生） | Developmental Processes of L2 Production Skills: A Quantitative Analysis of Learner Corpus Focusing on Objective Task Difficulty Ratings and Cognitive Demands |

第2会場（A21教室）

司会者：野呂忠司（愛知学院大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|-------------------|--|
| ① | 川口勇作（名古屋大学大学院生） | e ラーニング教材を活用した語彙学習方略がライティングに与える影響 |
| ② | 田中真由美（長岡工業高等専門学校） | 異文化理解の視点によるクリティカル・リーディングのための発問づくり — 教授法及び教材開発に向けて — |
| ③ | 藤田賢（三重県立神戸高等学校） | 難しい高校教科書を用いた英語で行う授業の研究～ラウンド制指導法・「記号付け」・「縮約版2度読み」の融合～ |
| ④ | 野呂忠司（愛知学院大学） | 効率的な統語処理能力は流暢な読みをどれほど説明できるか？ |

司会者：奥村信彦（長野工業高等専門学校）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|-----------------------------------|---|
| ⑤ | ※ポスターセッションのため自由研究発表なし | |
| ⑥ | 大塚智恵 （愛知東邦大学非常勤講師／京都教育大学非常勤講師） | サマリーライティング活動における、シャドーイング練習の効果 — 高等学校の英語授業実践において — |
| ⑦ | 西田一弘（愛知産業大学短期大学） | 英語ライティングにおける適切な間接修正フィードバックの方法と学生のレベルにおける学習効果の違い |
| ⑧ | 奥村信彦（長野工業高等専門学校） | 発問のタイプが物語の読み深めに及ぼす影響 |

第3会場 (A23教室)

司会者：紺渡弘幸 (仁愛大学)

| | 発表者氏名 (所属) | 発表題目 |
|---|---------------------|------------------------------|
| ① | 飯野厚 (法政大学) | 音読とシャドーイング練習がスピーキングに与える影響 |
| ② | 竹内春樹 (近畿大学工業高等専門学校) | プレゼンテーションにおける発音の強勢指導 |
| ③ | 西子みどり (静岡市立豊田中学校) | 授業における継続的なウォーミングアップ活動の重要性 |
| ④ | 紺渡弘幸 (仁愛大学) | 英語の授業における意見・考えの表出を求める効果的な指導法 |

司会者：和田順一 (清泉女学院大学)

| | 発表者氏名 (所属) | 発表題目 |
|---|--|---|
| ⑤ | 米崎啓和 (元帝塚山高等学校教諭) | A Study on the Effectiveness of Dictation in Improving English Listening Ability of Japanese High School Students |
| ⑥ | 茅野潤一郎 (新潟県立大学) 峯島道夫 (新潟医療福祉大学) 大湊佳宏 (長岡工業高等専門学校) | フィラーは英語学習者の聴解にどのような影響を与えるか |
| ⑦ | 山本孝次 (愛知県立大府東高等学校) | 音変化を意識した音読練習が聴解力に及ぼす影響 |
| ⑧ | 階戸陽太 (静岡県立大学) | 洋楽とディクテーションを組み合わせたリスニングの実践 ー協同学習を取り入れた授業の中でー |

第4会場 (B21教室)

司会者：滝沢雄一 (金沢大学)

| | 発表者氏名 (所属) | 発表題目 |
|---|--------------------------------|---------------------------------------|
| ① | 馬場純平 (浜松大学) | 英語教師対象の新たな語学研修の可能性 |
| ② | 加納幹雄 (岐阜聖徳学園大学) 岡崎浩幸 (富山大学) | 海外長期研修経験を有した英語教員の指導法改善に関する研究Ⅱ |
| ③ | 町村貴子 (千葉大学大学院生) | 対話型 Reflective Practitioner としての教師の成長 |
| ④ | 駒井健吾 (長野県屋代高等学校) | Exploratory Practice の観点から見た私の授業実践 |

司会者：古家貴雄（山梨大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--------------|---|
| ⑤ | 鈴木幸平（常葉大学） | 外国語青年招致事業の制度的再検討 －EPIK との教育行政的比較を通して |
| ⑥ | 長田哲文（信州大学） | 学校で学ぶ英語表現の正しい使い方 －ネイティブスピーカーに聞く |
| ⑦ | 安達理恵（愛知工科大学） | グローバル時代の国際人育成に必要なコミュニケーション力とは |
| ⑧ | 古家貴雄（山梨大学） | 昭和期戦前までの高等師範学校における教育実習（実地授業）のシステムと状況 |

第5会場（A31教室）

司会者：東正一（金沢伏見高等学校）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--------------------|----------------------------------|
| ① | 浅野敏朗（明治国際医療大学） | 英語冠詞の指導に向けて |
| ② | 近藤隆子（静岡県立大学） | 第二言語習得における他動詞の誤り －SV 構造の過剰般化－ |
| ③ | 城野博志（三重県立四日市南高等学校） | コミュニケーション能力を伸ばす文法指導が動機づけに与える影響 |
| ④ | 岩本藤男（焼津市立大井川中学校） | Dictogloss が文法能力に与える影響 |

司会者：吉田三郎（福井工業高等専門学校）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--------------------------------|---|
| ⑤ | 阪上辰也（広島大学） | 縦断的学習者コーパス分析による共起表現の経時変化 |
| ⑥ | 占部昌蔵（東京工業高等専門学校） 白畑知彦（静岡大学） | 現在完了形の誤り分析 ー過剰使用と過少使用ー |
| ⑦ | 草薙邦広（名古屋大学大学院生） | 第二言語における明示的および暗示的文法知識と学習者ビリーフの関係：大学生を対象にした予備的調査 |
| ⑧ | 田川憲二郎（埼玉県立大学非常勤） | be 動詞の誤使用と日本語の主題助詞 |

第6会場 (A32教室)

司会者：平野絹枝（上越教育大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--|---|
| ① | 赤瀬正樹（長野県蓼科高等学校） | 高校生の英語語彙学習方略に関する研究 |
| ② | 和田珠実（愛知県立大学大学院生） 鈴木寿摩（南山大学） | 単語帳作成が語彙学習に与える影響 |
| ③ | 阿久津仁史（文京区立茗台中学校） | 中学生の英語語彙学習方略の検討 —性差と学年差の視点から— |
| ④ | 村上嘉代子（芝浦工業大学） 田島祐規子（横浜国立大学） 加藤千博（横浜市立大学） 前川浩子（金沢学院大学） | RLG（語彙・文法）テストの形成的利用—自己評価票から 主体的な学びへ— |

司会者：横田秀樹（静岡文化芸術大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|---|------------------------------------|
| ⑤ | 大井美友紀（長野県塩尻志学館高校） | 実践報告：生徒のパフォーマンスを継続的に評価する |
| ⑥ | 米田佐紀子（北陸学院大学） 西村洋一（北陸学院大学） 細川真衣（北陸学院大学） | ポートフォリオ使用による高校生の英語力への影響と使用 実態 |
| ⑦ | 白畑知彦（静岡大学） | 教室環境における直接修正フィードバックの効果と性情 |
| ⑧ | 藤井数馬（沼津工業高等専門学校） | コアを用いた授業の要点の整理と協同学習的なアプローチ の可能性 |

第7会場 (A33教室)

司会者：柳善和（名古屋学院大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|-------------------------------|---|
| ① | 佐藤博晴（山形大学） | 小学校外国語（英語）活動の特徴—他教科・ソーシャルス キル・学級経営との関わりから：hyper-QU を活用したパ イロットスタディ— |
| ② | 染谷藤重（上越教育大学大学院生） | 小学校外国語活動における不安が英語能力に与える影響 |
| ③ | 後藤亜希（名古屋大学大学院生） | 小学生児童の音声と文字による英単語認知—授業外学習経 験者と非経験者の比較から— |
| ④ | 柳善和（名古屋学院大学） 高橋美由紀（愛知教育大学） | 小学校英語学習者の英語学習に対する態度の日本と韓国の 比較研究 |

司会者：島田勝正（桃山学院大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--|---|
| ⑤ | 中島翔（富山大学研究生） | 小中連携に対する小学校教員と ALT の意識に関する質的研究 |
| ⑥ | 幸田明子（常葉大学） | 授業の課題から検証する「コミュニケーション能力育成」の在りかた |
| ⑦ | 石濱博之（上越教育大学） | 35時間の外国語活動を体験した児童の「聞くこと」と情意面の関連についての事例報告 |
| ⑧ | Gildea Steve（メリマック大学） 柏木賀津子（大阪教育大学） | Using 3D anime to promote schematization of language structure in elementary school: focusing on prepositions |

第8会場（A34教室）

司会者：松尾眞志（和歌山市立和歌山高等学校）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--------------------|--|
| ① | 鈴木政浩（西武文理大学） | 教室内指向要因と参加表現の楽しさの関係－英語授業学研究の視点からみる望ましい英語授業の枠組－ |
| ② | 三上由香（大阪商業大学非常勤講師） | 言語学習動機づけにおける自己効力感の役割 |
| ③ | 飯尾晃宏（静岡県立浜松湖南高等学校） | 意味交渉における技術の使用箇所と発話者の積極性の関連性 |
| ④ | 松尾眞志（和歌山市立和歌山高等学校） | 高校ブリッジ教材に関する調査 |

司会者：新村知子（石川県立大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--------------------|---|
| ⑤ | 田中真美（静岡理工科大学非常勤講師） | 音声ファイル速度調整ソフトの英語教授用ツールとして活用法と有効性 |
| ⑥ | 天野修一（日本福祉大学非常勤講師） | トータル・フィジカル・レスポンスを用いた英語コミュニケーションへの抵抗感の軽減 |
| ⑦ | 藤田卓郎（福井県立坂井農業高等学校） | Task-Based Language Teaching のフレームワークを活用した英語授業に対する動機づけを高めるための実践：職業高校生を対象としたアクション・リサーチ |
| ⑧ | 新村知子（石川県立大学） | アナログ教員、ハイテク CALL 教室での授業に挑戦する |

第9会場 (C21)

司会者：田中武夫（山梨大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|--|--|
| ① | 山本長紀（駒沢女子大学） | 国立教員養成系大学の履修カルテの実態調査 —英語科教員養成に焦点を当てて— |
| ② | 竹田真紀子（愛知学院大学） | 英語プログラム評価に対する教員の意識と大学認証評価 |
| ③ | 浅野享三（南山大学短期大学部） | 中・高・大の連携を目指して —いま大学英語で取り組んでいること— |
| ④ | 大澤聡子（鈴鹿医療科学大学） 山下道世（鈴鹿医療科学大学） Mark LaForge（鈴鹿医療科学大学） | 薬学教育における導入期ESP：一般英語から薬学英語への橋渡し |

司会者：永倉由里（常葉学園短期大学）

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|----------------------|--|
| ⑤ | 山田昇司（朝日大学） | ”基本的”なのに”知的レベル”は高い！？ —「大嫌い」から解放する大学英語の創り方 |
| ⑥ | 千田誠二（和光大学） | 「英語授業にのることのできない大学生の学習意識に関する質的研究」 |
| ⑦ | 岩本昌明（富山県立富山視覚総合支援学校） | 学習空白のある生徒の英語指導に関する一考察 —高等部普通科病弱教育部門— |

ポスターセッション 12:00～13:30

第2会場 (A21教室)

| | 発表者氏名（所属） | 発表題目 |
|---|----------------------------------|-----------------------------------|
| ① | 伊藤高司（名城大学附属高校） 杉山剛浩（名城大学附属高校） | 知的・創造的英語コミュニケーション能力を伸ばす高校英語授業実践報告 |